

News Release

2018年12月19日
近江トラベル株式会社

びわ湖竹生島クルーズ乗船料と国宝彦根城観覧がお得にセット 「びわ湖竹生島クルーズ・冬の国宝彦根城観覧 1day パス」 発売について

オーミマリン（運営：近江トラベル株式会社、代表取締役：植田 重弘）では、彦根市と協力し、びわ湖竹生島クルーズの乗船と国宝彦根城のご観覧が出来る便利な『びわ湖竹生島クルーズと冬の国宝彦根城観覧 1 day パス』を12月22日（土）から発売します。

「びわ湖竹生島クルーズと冬の国宝彦根城観覧 1 day パス」は彦根港から西国三十三観音霊場第三十番札所「宝厳寺」を有する竹生島までの往復乗船料と国宝彦根城の観覧料（玄宮園を含む）がセットとなっております。

「びわ湖竹生島クルーズと冬の国宝彦根城観覧 1 day パス」をご購入いただくと、通常の乗船料と彦根城観覧料を別々で購入するよりも、お得にご利用いただけます。

詳細は、別紙のとおりです。



『びわ湖竹生島クルーズ・国宝彦根城観覧 1 day パス』券面（おもて）



『びわ湖竹生島クルーズ・国宝彦根城観覧 1 day パス』券面（うら）

【別紙】

「びわ湖竹生島クルーズ・冬の国宝彦根城観覧 1day パス」発売について

1. 発売期間

2018年12月22日（土）～2019年2月24日（日）までの土・日・祝日

※12月30日（日）は運休します。

※2019年1月1日（火・祝）～6日（日）は運航します。

※発売日当日限り有効

2. 発売場所

オーミマリン彦根港

3. 発売料金

おとな1名さま 3,300円

※料金には、彦根港⇄竹生島クルーズ往復乗船料と彦根城(玄宮園含む)観覧料が含まれております。

(参考) 通常料金…彦根港⇄竹生島往復乗船料 3,000円、彦根城(玄宮園含む)観覧料 800円

※1枚につき1名さまのみ有効です。

※こども料金の設定はありません。

4. 運航時間

1便/彦根港 9:30 発～竹生島 10:10 着／11:20 発～彦根港 12:00 着

2便/彦根港 12:30 発～竹生島 13:10 着／14:20 発～彦根港 15:00 着

※悪天候の際、欠航になる事もございます。

※彦根駅西口～彦根港 無料シャトル便運行(所要時間8分)

彦根駅西口(⑥番のりば) 発 9:00/12:00

彦根港発 12:10/15:10

※2018年12月3日(月)から2019年2月24日(日)までは、冬期ダイヤで運航しています。

時刻など詳しくはホームページでご確認の上、ご乗船ください。

5. ご予約・お問合せ先

近江トラベル株式会社 オーミマリン彦根港

TEL. 0749-22-0619 (予約受付時間 9:00～17:00)

URL. <http://www.ohmitetudo.co.jp/marine/index.html/>

以 上

【参考】

竹生島



沖合約6 km に浮かぶ周囲2 km あまりの小島で、宝厳寺と都久夫須麻神社が祀られています。宝厳寺の本尊は弁才天と千手観音。弁才天は安芸の宮島、相模の江島とともに日本三弁天に数えられています。また、中世以来西国三十三所観音霊場の三十番札所として多くの参詣客で賑わっています。宝厳寺の唐門は秀吉の大坂城の唯一の遺構と伝わり、都久夫須麻神社の本殿とともに国宝に指定されています。近年は琵琶湖第一のパワースポットとして注目を集めています。「深緑竹生島の沈影」として琵琶湖八景の一つ。

彦根城



姫路城などとともに天下の名城の一つに数えられる彦根城は、井伊直継（なおつぐ）・直孝（なおたか）によって約20年の歳月をかけて建設され、元和8（1622）年に完成しました。佐和（さわ）山城・安土城・長浜城・大津城の石垣や用材が使われました。月明かりに浮かぶ彦根城は美しく、琵琶湖八景の1つに数えられています。明治時代の廃城令や戦火を免れた彦根城の勇壮な姿を、城内散策で眺められます。また、彦根城の別名金亀城（こんきじょう）の名は、彦根城築城以前、彦根山上にあった寺院に金の亀に乗った観音像が安置されていたため、と言われています。

<天秤櫓（てんびんやぐら）>

羽柴秀吉（はしばひでよし）の長浜城大手門を移築したといわれます。廊下橋を中心に左右対称に櫓が並び立つ姿が、天秤に似ていることからこの名が付けました。この櫓の形は彦根城だけといわれ、国指定の重要文化財です。

<太鼓門櫓（たいこもんやぐら）>

本丸表口を固める勇壮な迫力を感じさせる楼門で、城中合図の太鼓を置いたことからこの名が付けました。釘跡が残っているのは、彦根寺楼門が移築されたためと伝えられていますが、佐和山城か長浜城の城門を移築したものという説もあります。いずれにしても釘跡は移築前の建物の痕跡と見られています。国指定の重要文化財です。

<天守>

牛蒡積み（ごぼうずみ）と呼ばれる石垣は自然石を使い、重心が内下に向くように作られ、外見は粗雑だが強固な造りです。その上に三重の天守が立っています。規模は小さいが、屋根の曲線の調和が美しく荘厳な雰囲気を持っています。また、花頭（かとう）窓が配列されているのも特長の一つとされています。